

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	文化会館・大町公民館	係	事務事業No.	121132			
事務事業名	芸術文化振興事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	潤いのあるまち					款	2	項	1	目	13
施策目標	歴史文化の振興										
後期計画掲載頁	109		頁	個別計画	第4次生涯学習プラン					15	頁
事業期間	平成	19	年	～	平成	28	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
「祭in大町・北安曇」は、1990年（平成2年）に第1回公演を行い、以来、地域に継承される民俗芸能による創作舞台公演を重ね、1998年には長野オリンピックでの公演という当初の目的を達成し、1999年の仁科神明宮での公演を最後に活動を休止した。この約10年間の活動を通じて、文化による地域づくりに寄与するとともに、大北をひとつにつなぐという大きな功績を残してきた。活動を休止してから15年という月日が流れたが、地域づくりに文化が果たす可能性や力強さを示すべく、ふたたび「祭in大町・北安曇」を始動した。

事業の目的
活動を休止して15年。この間、厳しい経済状況が続き、それに追い打ちをかけるように東日本大震災が起これ、更には地域コミュニティ崩壊の危機、少子高齢化、格差の拡大など、将来に大きな夢を託して生きるということが当たり前前のことではなくなってきた。こんな時こそ、未来を切り拓く鍵は「文化」と考え、郷土の大町と北安曇への讃歌を謳いあげるため、事業を実施した。

事業内容
公演に向けての企画・運営は大北地域の住民の手で行われ、それぞれが忙しい合間を縫って集まり、大道具を作り、衣装を縫い、出演団体は練習を重ね、一丸となって準備にまい進した。各地で民俗芸能を継承してきた人々の熱演と、文化の力を信じる大北の仲間が創作舞台を創りあげた。

事業費	財源内訳	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		総事業費（決算額）		千円	千円
	国庫支出金		千円	千円	千円
	県支出金		千円	千円	千円
	起債		千円	千円	千円
	その他財源		千円	千円	千円
	一般財源		千円	千円	1,000 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

地域住民が皆で学び、皆で考え、皆で行動し、皆で作りに上げ、皆で伝える、住民参加と協働の力で成し遂げられた創作舞台であり、その実践自体が成果であるため。（実行委員会への補助金の支出）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3

評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続 評価点合計 17 / 18	文化会館30周年記念事業として実施した。当日券を含めたチケットが完売し、客席も満席の大盛況となった。称賛の声とともに、続けてほしいとの声も多くの皆様からいただいた。地元を向け、地域の文化が再認識され、地域に誇りと自信をもたらした。この地域のあり方を考える上で良い機会となった。			

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館・大町公民館 係	事務事業No.	15122
事務事業名	勤労者福祉施設運営管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	5 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	23 頁	
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
勤労者福祉施設（フレンドプラザ）の運営管理、貸館を行う。

事業の目的
講演会や学習会等に施設の貸出を行い、市民の福祉の向上、生涯学習を行うグループや団体の活動を支援する。

事業内容
勤労者福祉施設（フレンドプラザ）の運営管理、貸館を行う。
大会議室1室 研修室1室

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,265 千円	2,039 千円	2,746 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	589 千円	254 千円	276 千円
	一般財源	1,676 千円	1,785 千円	2,470 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用回数	回	113	124	147	120	122.5%	120
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用者数	人	3,693	5,051	4,456	4,000	111.4%	4,500
②								
③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）北アルプス平日夜間小児科・内科急病センターへの貸し出し								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
平成27年度は、年間で4,000人を超える利用があった。施設に老朽化が見られるため、必要な修繕を行いながら、市民の皆様にご利用していただくよう努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通
点数	2	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 14 / 18	文化会館関連施設のなかでは、比較的用户者は少ないが、大規模集会の際には重宝な施設であり、今後も管理運営を継続する。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	女性未来館ピュア	係	事務事業No.	15123			
事務事業名	女性未来館ピュア一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	5	項	1	目	2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画					21		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	女性の福祉の増進と地位向上を図るため設置された女性未来館ピュアの施設管理。
事業の目的	新規就業者、中途採用希望者を含む女性労働者、及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助等を実施する女性未来館ピュアの施設管理。
事業内容	定期的に女性未来館ピュア運営委員会を開催し、適切な管理運営と利用者の意向を尊重した事業の実施に努める。館の清掃等施設管理。備品の維持管理。

事業費	財源内訳	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		総事業費(決算額)	3,104千円	2,251千円	2,667千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,104千円	2,251千円	2,667千円	

活動指標			平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	開館日数	日	306	303	304	304	100.0%	300
	②								
③									

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	1570	1567	1685	1600	105.3%	1685
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

利用件数は、各年度実施する事業内容により増減が生じる。社会の動向や利用者のニーズに沿った事業に取り組むとともに、利用しやすい施設であるよう心掛けたい。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である
	点数	3	3	2	2	3	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	老朽化した会議用テーブルを更新し利用しやすいものとした。今後も女性未来館ピュア運営委員や利用者の意見を聞き、より使いやすい施設となるよう努めたい。女性の社会進出に向けて資格取得事業にも取り組み、シニア時代から、若い年齢まで広い幅の女性が輝けるよう講座を企画し、施設利用の増加につなげたい					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	女性未来館ピュア	係	事務事業No.	15124			
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	5	項	1	目	2
施策目標	豊かな人生を贈れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	119		頁	個別計画					21		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 女性の福祉の増進と地位向上を図るため、活動の場の提供や各種講座等を実施する。女性の様々な活動の拠点となるよう必要な支援を行い女性の社会参加の促進を図る。

事業の目的
 女性の様々な活動のための拠点施設として活動の場を提供し、必要な助言を行い、女性の社会参加の促進を支援する。また、女性の多様化するライフスタイルの中、家庭と仕事を両立するための子育ての支援をする。

事業内容
 利用者の会のサークルによる、ピュアフェスタ（ステージ発表・作品展示・体験コーナー）を11月に開催し、生涯学習の啓発活動を行う。受講者自らが企画する企画参加型講座や、文学・手工芸・調理など多種にわたる講座を開設し、教養を深め仲間づくりをする機会とする。親子または子供向け講座で、子どもの自主性を向上させる。各講座とも託児を行い、子育て世代の参加者を支援する。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,020 千円	1,988 千円	2,000 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,020 千円	1,988 千円	2,000 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 女性講座	コース	1	1	1	1	100.0%	1
② 趣味・教養講座	コース	6	13	13	5	260.0%	13
③ 子育て支援講座	コース	2	2	3	2	150.0%	2

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 女性講座受講者	人	304	357	288	300	96.0%	200
② 趣味・教養講座受講者	人	270	527	585	400	146.3%	400
③ 子育て支援講座受講者	人	76	130	58	100	58.0%	50

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）講座参加者の託児の実施、子育て世代の趣味、教養の幅を広げまた、シニア世代の健康増進、生きがいの場を提供することができる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 働く女性の社会進出のための資格取得講座を重点化していたが、資格取得後の、その資格を生かした就労の場の確保という面が課題となっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	一部重複	高い	適正である
点数	3	3	2	2	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	資格取得講座を重点に実施してきたが、女性の福祉の向上の観点から利用者のニーズに合った事業の実施に注力したい。またシニア世代の増加に伴い生きがいの持てる講座の実施についても検討したい。				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	八坂公民館 係	事務事業No.	110128
事務事業名	山村留学支援事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 1 目 2
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 18 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 都会から山村へ留学生を受け入れ、異年齢集団の中で物の大切さや思いやり、体験活動を通じて情操教育の向上を図る。地元の小学校児童、中学校生徒が減少し、学校運営に支障をきたしているため、山村留学生の受け入れを支援している。

事業の目的
 山村留学生を受け入れて交流することにより、地元の小中学生、留学生双方の健全育成を助長する。複式学級の回避の他、各方面の教育効果の高揚を図る。情報や人的交流により、友人関係を構築し地域活性化に寄与する。

事業内容
 山村留学実施主体の公益財団法人育てる会と受入農家を支援する山村留学推進協議会へ補助を行っている。

事業費	年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	総事業費（決算額）		18,000 千円	18,000 千円	18,200 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	12,600 千円	12,600 千円	12,600 千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		5,400 千円	5,400 千円	5,600 千円	

活動指標			平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	受入農家数	戸	8	7	9	9	100.0%	10
	②								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	山村留学児童生徒数	人	28	28	31	31	100.0%	31
	②								

2. 数値で表せない効果
 （指標）山村留学生と地元の児童、生徒は、お互いを尊重し合い、切磋琢磨し学習に取り組んでいる。また、毎年山留OBと地元の交流会を実施しており、棚田でのコメづくりを通じて都市との交流を図ると共に、農地の保全に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 平成27年度は31人の山村留学生が地域の方々と交流しながら、自然体験や農村文化体験等貴重な学習活動を行うことができた。農家での宿泊体験が重要な事業であるため、受入農家の確保の取り組みを引き続き支援する。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	2	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続 評価点合計 16 / 18	山村留学生を受け入れることにより、地元の小中学生への相乗効果が期待できる。八坂及び美麻地区の児童生徒が減少している中で、山村留学生の受け入れは学校運営に今後も必要である。					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110412			
事務事業名	社会教育総務一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進										
後期計画掲載頁	112		頁	個別計画		第6期社会教育計画			8		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 社会教育の推進、美術振興の推進について、各付属機関の委員から意見をいただき、事業へ反映していく。また、市民が主となって組織され、継続的に開催している事業への負担金を支出し、協働による事業実施を支援する。

事業の目的
 市が行う各種事業を、より市民に参加いただける事業として開催できるように、意見をいただきながら取り組む。また、市民が自主的に継続して取り組んでいる事業への支援を行う。

事業内容
 社会教育委員会議を開催し、施設の取組みや課題について意見をいただいている。市民の自主的で継続して開催している事業への支援は、第14回雪形まつりへ1,300千円、大町こどもまつりへ122千円、安曇野アートライン推進協議会へ150千円を負担金として支出している。また、成人式を大町市、選挙管理委員会、教育委員会主催で8月15日に開催している。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費(決算額)	2,774千円	2,804千円	2,828千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	2,774千円	2,804千円	2,828千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	社会教育委員会議開催	回	5	4	4	5	80.0%	5
②	成人式の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	負担金の支出	箇所	3	3	3	3	100.0%	3

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	成人式の開催	人	257	229	251	240	104.6%	260
	②	雪形まつりの参加者	人	400	400	300	500	60.0%	400
	③								

2. 数値で表せない効果
 (指標) 上記の雪形まつり参加者は概算での来場者数であるが、実行委員や受賞者を含めた来場者以外の出演者・関係者は約300人であり、大人はもとより、子どもたちにとって、発表や体験の場として、貴重なものとなっている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 雪形まつりは、以前は実行委員会が主体的に運営し、行政の関与はかなり限定的なものとなっていたが、ここ数年は行政が主体となって運営している状況にである。本来の雪形まつりは、子どもたちの児童詩の募集、表彰、発表をするものであったため、当初の内容に戻すことも検討したい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり	
点数	3	3	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	北アルプス雪形まつりは春の文化芸術の行事として継続して開催している。出演者・関係者にとっては、発表の場、体験の場として大切なものとなっている。事業の推進体制は、市民自らが考え、運営し、創りあげる主体的な活動となり、より多くの市民に親しまれるよう、現在の行政主体の推進方法を再検討する時期に来ている。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110413
事務事業名	社会教育施設運営管理費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第6期社会教育計画	41 頁	
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
大町公民館分室、蔵の音楽館、ギャラリー・いーずら及び信濃木崎夏期大学の管理を行う。

事業の目的
市民等によるサークル活動の活性化を図るため、施設の貸館や保守を行う。
なお、信濃木崎夏期大学は指定管理施設であるため、指定管理者の主体的な運営を促し、地域の生涯学習の拠点として活用する。

事業内容
嘱託及び臨時職員を配置し、施設の貸館業務を行う。また、施設のエレベーターなどが安全に利用できるように、保守管理業務を委託するとともに、必要な修繕を行い、施設の維持管理に努めている。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	9,543 千円	9,403 千円	9,601 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	9,543 千円	9,403 千円	9,601 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	大町公民館分室開館日数	日	292	294	291	292	99.7%	290
②	蔵の音楽館開館日数	日	292	294	291	292	99.7%	290
③	ギャラリー開館日数	日	186	166	139	150	92.7%	150

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	大町公民館分室利用者数	人	24,901	23,957	22,925	25,000	91.7%	24,000
	蔵の音楽館利用者数	人	982	869	754	1,000	75.4%	900
	ギャラリー利用者数	人	4,089	2,504	2,486	3,000	82.9%	2,500

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設の利用者が固定化していることもあり、新規の利用の開拓に努める必要がある。
経年劣化による施設の維持、補修が必要となっている。計画的な改修に努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	大町公民館分室は多くの利用者があるが、施設の老朽化により計画的な修繕を要する状態になってきている。ギャラリー・いーずらは民間施設を賃貸している物件であるが、内装等の修繕が必要な時期になっている。他施設を含めて年次計画を作成し、計画的な修繕や備品更新を行いたい。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110414	
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業					会計	一般会計		
まちのテーマ	人を育むまち					款	項	目	
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進								
後期計画掲載頁	112	頁	個別計画	第6期社会教育計画				41	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要	エネルギー博物館の運営費の補助金
事業の目的	エネルギー博物館の運営に要する費用に充てるため補助金を交付する。
事業内容	運営費の助成として、経常経費分と修繕工事等臨時的費用分の合計額を補助する。

事業費	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	総事業費(決算額)	11,350千円	14,769千円	13,310千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		11,350千円	14,769千円	13,310千円	

活動指標	指標名	単位	平成25年度 実績値	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	前年度(H27) 目標値	達成率 (%)	次年度(H28) 目標値	
	①	開館日数	日	202	201	200	200	100.0%	200
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)		
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	入館者数	人	8,447	9,005	8,950	10,000	89.5%	10,000
	②	入館料	円	2,551,640	2,551,530	2,472,060	2,700,000	91.6%	2,700,000
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

財団法人の運営であるため、理事会での判断を要するが、生涯学習や観光振興の視点を含め、今後の運営について検討を進めたい。まきバスもくちゃんやプラネタリウムを活用し入館者増に引き続き努力する。

評価	項目	必要性	有効性	効率性			
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	2	2	2	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	平成27年度の入館者数は8,950人で前年度比0.6%減とほぼ前年度並みとなった。今後、施設の老朽化による修繕や展示品の更新について、懇話会の意見を聴きながら、検討していく。財務状況は、収益の約8割を補助金に依っている状況にある。平成27年度は、退職給付引当金の適正化により、一時的に現金収支が改善した。今後も現金収入の確保のため、プラネタリウムやまきバスの活用などにより入館料収入の増を図る。また、地域の社会教育のための施設として同館の活用をさらに進める。					
	評価点合計	14	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110415
事務事業名	公民館分館整備助成事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	項 目
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画	第6期社会教育計画	41 頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 地域住民の生涯学習活動や地域活動の拠点となる公民館分館及び地域集会施設の改築、改修に対して補助金を交付し、施設整備を図る。

事業の目的
 地域の公民館等の施設整備を図ることにより、地域住民の交流や生涯学習の場とする。

事業内容
 自治会で管理する集会施設などの施設整備に係る必要な経費に対し、補助金や、利子補給金の交付を行う。施設改修、改築、下水道接続、敷地の購入などの事業費の1/3を補助する（上限あり）

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	2,664 千円	15,546 千円	1,311 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,664 千円	15,546 千円	1,311 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 改修施設数	件	5	3	2	2	100.0%	2
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標①）施設改修が行われたことにより、地域における自治会、公民館の活動拠点が整備され、それに伴って地域の活動の継続、発展が見込まれる

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 計画的に改修等を行う自治会等の要望に沿っているため、補助事業自体に特段の課題は無いと考える。しかし、今後人口減少や高齢化、自治会離れ、自治会予算の減少等の課題があり、自治会等の運営や分館等の維持管理が継続的に行われるかどうか懸念されるところである。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域のコミュニティ施設である公民館や集会所の施設整備は、耐震改修、下水道接続などこれからも要望が見込まれるため、今後も継続していくことが必要と考える。補助制度については、連合自治会総会時や10月広報、自治会のしおりにおいて行っており、より適切な周知について検討したい。平成27年度の実施施設は、大久保北公民館、宮本公民館の二館である。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	事務事業No.	110416
事務事業名	生涯学習推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	豊かな人生を送れる生涯学習の推進				
後期計画掲載頁	112 頁	個別計画	第6期社会教育計画		39 頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
生涯学習のまちづくり推進本部委員会会議の開催。
子ども向けの情報誌「がったつうしん」を発行し、各種行事・イベントや体験活動の情報を提供し、子どもたちの生きる力につながる機会を確保する。

事業の目的
全市的な広がりのある多様な生涯学習活動を推進するため、生涯学習のまちづくり推進本部委員会会議を開催する。「がったつうしん」は、広く情報の収集を行い、情報を市民の皆様に提供することにより、行事等への参加による親子のふれあう機会とするとともに生きる力につながる機会とする。

事業内容
生涯学習のまちづくり推進本部委員会会議を開催し生涯学習プランの進捗状況や課題について検討を行った。また、リーダーバンク制度のリニューアルを図った。「がったつうしん」は年4回発行し、市内学校及び事業所へ送付し活用いただいている。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,137 千円	5,820 千円	390 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	1,137 千円	5,820 千円	390 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	がったつうしん発行	4	4	4	4	100.0%	4
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①					—	—	—
②					—	—	—
③					—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ①）がったつうしんは、平成11年の創刊以来、年4回発行（無料）している。子どもや親子を対象とした催しを掲載し「遊び」「学び」に関する情報発信を行い幅広くご利用いただいている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
平成27年度に生涯学習リーダーバンク制度の更新を行った。生涯学習のまちづくり推進本部で協議いただきながら、メニューや登録方法など全体的な見直しを行い、制度の充実を図った。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通
点数	3	3	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	平成26年度の事業費が多額なのは大町市冬期芸術大学を開催したためである。平成27年度に生涯学習のリーダーバンク制度の更新を行った。リーダーバンク活用を広く周知し、制度の利用による生涯学習活動を促進したい。			
	評価点合計	16	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	人権教育 係	事務事業No.	110417
事務事業名	人権教育推進事業			会計	一般会計
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち			款	10 項 4 目 1
施策目標	一人ひとりが平等で尊重される社会の形成				
後期計画掲載頁	45 頁	個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針		頁
事業期間	平成 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切に人権教育の推進を図る。

事業の目的
 様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し差別のない明るい市民参加と協働の町づくりを進める。

事業内容
 人権教育推進協議会・企業人権教育推進協議会の研修、学校人権教育研究委員会による各学校での活動、市内6地区での人権を考える市民の集いの開催や人権教育指定校の公開授業（2校）の開催、人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業、市内小中高の実践記録の作成等行っている。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	3,917 千円	4,197 千円	4,150 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	3,917 千円	4,197 千円	4,150 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 人権を考える市民の集い	回数	6	6	6	6	100.0%	6
② 企業人権教育推進協議会	回数	1	1	1	1	100.0%	1
③ 人権週間ポスター展示	回数	2	1	1	1	100.0%	1

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 人権を考える市民の集い	人	1,227	1,701	1,756	1,710	102.7%	1,710
② 企業人権教育研修会参加	人	113	63	94	70	134.3%	70
③ 人権教育指定校公開授業	人	87	122	103	100	103.0%	100

2. 数値で表せない効果
 人権教育の推進により、市民ひとりひとりが、他の人を思いやる気持ちや互いを尊重しあう心を醸成し、地域のつながりや協力関係を円滑に築く要因となることで、協働のまちづくりの推進に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 人権課題を自分自身の課題ととらえ、同和問題をはじめ、外国人、女性、子ども、高齢者、障がい者、インターネット等に係わる様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し、明るく差別のないまちづくりを推進するため、粘り強く継続的に取り組む必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通
点数	3	2	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	学校人権教育研究委員会については、市内の小中学校以外にも、高校、保育園、幼稚園からも参加協力が得られ、未就学児童から高校生までの人権教育について研究の機会、情報交換、連携ができている。様々な機会を使い啓発事業を推進しているが、意識の改革を目的としているので、継続した取り組みが必要である。			
	評価点合計	16	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110421	
事務事業名	補導・環境浄化活動事業					会計	一般会計		
まちのテーマ	人を育むまち					款	項	目	
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進								
後期計画掲載頁	118	頁	個別計画	第6期社会教育計画				19	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 青少年センターが、市内各地域等から推薦された補導委員とともに、街頭補導活動や健全育成のための啓発を行う。

事業の目的
 青少年補導委員を委嘱し、街頭補導活動、環境浄化活動に取り組み、青少年の健全育成に取り組む。地域の子どもは地域で守り育てる意識の醸成を図る。

事業内容
 青少年補導委員80名を委嘱し、14班編成として下校時等に55回の街頭補導活動を行った。また、各種研修会を開催し青少年のおかれている現状を把握し、活動の参考としていただいた。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	2,932 千円	2,835 千円	2,715 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	2,932 千円	2,835 千円	2,715 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	街頭補導活動	回	70	55	55	56	98.2%	56
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標①）補導委員の街頭補導活動等により、青少年の有害な環境の改善、非行防止に努めている。最近では、活動中特に問題となる事案は見受けられないが、継続した取り組みが必要と考える。								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 補導委員について、高齢化や自治会からの選出が困難になっているところもあるので、自治会を越えて市全域から適任者の選出を行い委員の確保を図る必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	当市においては、青少年非行について、確認できる範囲では大きな問題は生じていない状況にある。街頭補導の際には巡回しても子どもたちに会うことが少ないと意見を頂戴しているが、巡視活動自体が抑止効果を期待できるため、継続して活動を行っていく。ただし、補導委員の高齢化等により、活動できない傾向もあるため、平成28年度においても、活動日数を連年並みとし、集中的かつ重点的な補導活動を行うとともに、補導委員の負担の軽減を図りたい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	事務事業No.	110422			
事務事業名	青少年育成事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	2
施策目標	家庭と地域で育む教育の推進										
後期計画掲載頁	118		頁	個別計画		第6期社会教育計画			15		頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 地域全体で青少年健全育成に取り組む。
 大田市青少年問題協議会、大田市清松園育成市民会議の運営。

事業の目的
 地域の子どもは地域で育てるため、地域の子ども会育成会の活動支援や市民全体で青少年の健全育成に取り組む。

事業内容
 子ども会育成会の活動支援として「子ども体験学習号」を委託契約し、低廉な利用料でバスを運行している。また、8月には青少年育成市民大会を開催し、青少年健全育成に寄与された方々を表彰、青少年健全育成に係る分科会を開催して、市民全体で健全育成の取り組みを行う。
 また、未就労、引きこもりの若者について、関係機関と協力して、人とのかわりが持てるよう積極的な相談活動を展開し、次に向けて少しでも動き出すことができるよう援助していきたい。

事業費	財源内訳	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		総事業費(決算額)	2,798千円	3,110千円	2,851千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,798千円	3,110千円	2,851千円	

活動指標	指標名		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
	① 青少年育成市民大会		回	1	1	1	1	100.0%	1
	②								
	③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 子ども体験学習号利用数		件	13	14	14	15	93.3%	15
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 各地区、市全域で少年、ジュニア、シニアリーダー研修会を開催し、それぞれ大勢の参加がある。しかし、本来の目的である自主的活動への取り組みにはなかなか結びつかない状況である。各地区と市全域のリーダー研修会の連携や、リーダーの人材情報と活動の場の提供を検討する必要がある。(なお、名称をリーダー研修会としているが、あまり大上段に構えず、子どもたちの居場所、体験の場として活用してしてもらおうことができるとも考えている。)

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である
	点数	3	3	3	2	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	青少年育成市民大会は、6分科会を設け、30人前後を1分科会として参加者が意見等の発言しやすくして開催している。より多くの市民に参加していただけるような分科会の内容を設定していきたい。市内には小学校又は中学校の時より、障がい、家庭問題や友人との良好な関係を構築できず不登校となり、中学校を卒業してそのまま引きこもりとなってしまった若者や、高校へ進学したものの学校になじめず退学した者、問題を起こして退学に至った若者がまだ多くいる。しかし、こうした、義務教育を離れ、高校を退学した者等への支援はこれまで十分に行われてきたとは言いがたい。今回は、自立に向けて行動するまでの精神的、心理的なハードルの高さをふまえ、指導員等の声掛け活動等により、次の行動へ展開するための動機づけの機会を提供している。					
	評価点合計	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館・大町公民館 係	事務事業No.	110432
事務事業名	大町公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン		23 頁
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点である公民館の維持管理を行う。
 地域住民の身近な行政機関として住民票等の交付窓口業務を行っている。

事業の目的
 公民館施設を利用されやすい施設として適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。

事業内容
 地域住民の学習・文化・体育活動や自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業により利用される公民館施設の管理業務。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,114 千円	1,240 千円	1,282 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	305 千円	千円	269 千円
	一般財源	809 千円	1,240 千円	1,013 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	289	294	280	290	96.6%	290
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人	26,304	25,551	23,838	26,000	91.7%	26,000
	②	利用回数	回	1,858	1,934	1,980	1,900	104.2%	1,900
	③								

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 文化会館と一体となっているので、実習室、視聴覚室、調理室、展示室と様々な部屋が入り、多様な活用が可能である。また、部屋数が多いため、分科会を伴う催しにも利用できる。これらの利点をPRしながら、利用の促進に努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	文化会館と一体になって、有用な施設である。施設の老朽が進んでいることから、計画的な補修を検討したい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館・大町公民館 係	事務事業No.	110433
事務事業名	大町公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	23 頁	
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習機会の提供するとともに、自主的な活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 文化事業、体育事業等を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを推進するとともに、地域のコミュニティ力の向上や社会福祉の増進をめざす。

事業内容
 分館事業補助金交付、分館講座の開設支援、大町市文化祭開催、北アルプス囲碁・将棋大会開催(2回)、講座の開設(外国人のための日本語教室・すくすく広場・菊づくり講座・デジタル一眼レフカメラ上達講座など)

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	2,142 千円	1,764 千円	2,085 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	2,142 千円	1,764 千円	2,085 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	公民館講座開催	回	64	67	70	67	104.5%	70
②	体育事業	回	4	4	4	5	80.0%	5
③	文化事業	回	3	3	3	3	100.0%	3

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	公民館講座開催	人	1,970	1,305	2,259	1,300	173.8%	2,000
	②	体育事業	人	901	885	914	900	101.6%	900
③	文化事業	人	10,772	10,528	10,371	10,000	103.7%	10,000	
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 日本語講座、親子教室、菊づくり教室、市民運動会と多彩な事業を実施している。分館の中には、高齢化等の社会状況の変化から、自治会離れ、分館離れの傾向が見受けられ、参加者が少なくなっている事業もある。体育活動では、分館の枠にとらわれない開催形式を検討したい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	文化会館と一体となった運営が可能な公民館である。公民館運営審議会や利用者の意見を聞きながら各種事業を展開するよう努める。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	平公民館 係	事務事業No.	110434
事務事業名	平公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画	第6期社会教育計画	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点である公民館の維持管理を行う。
 地域住民の身近な行政機関として住民票等の交付窓口業務を行う。

事業の目的
 公民館施設を利用されやすい施設として適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。

事業内容
 地域住民の学習・文化・体育活動や自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業により利用される公民館施設の管理業務。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	8,133 千円	10,702 千円	13,809 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	8,133 千円	10,702 千円	13,808 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	327	345	345	330	104.5%	330
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人	25,768	21,820	21,900	25,000	87.6%	25,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 旧平小学校跡地に、平地区の社会教育、生涯学習の活動拠点として平公民館が整備され30周年を迎えた。年間利用者数は20,000人を超え様々な学習活動が行われているが施設の老朽化が見られる。このため平成27年度は、照明等の配電盤の改修工事を実施した。今後も緊急度を考慮した計画的な維持、改修に努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、地域の活動拠点として担っていくうえで、機能向上と利用環境の快適化を図るために、施設・設備の計画的な改修を行う必要がある。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	平公民館	係	事務事業No.	110435			
事務事業名	平公民館活動費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁				頁	個別計画	第6期社会教育計画					頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習機会の提供するとともに、自主的な活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 文化事業、体育事業等を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを推進するとともに、地域のコミュニティ力の向上や社会福祉の増進をめざす。

事業内容
 地域住民参加による運動会・球技大会等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。

事業費	年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	総事業費（決算額）		1,226千円	1,212千円	1,065千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		1,226千円	1,212千円	1,065千円	

活動指標			平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	公民館体育事業	回	6	6	6	6	100.0%	6
	②	公民館講座	コース	14	8	7	12	58.3%	10

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	470	410	400	800	50.0%	800
	②	公民館講座受講者	人	334	221	107	250	42.8%	250

2. 数値で表せない効果
 （指標 ） 自主学習活動サークルの中には、自身の学習活動ばかりでなく、福祉施設等への慰問や独自の発表会を開催するグループもみられ、学習成果の活用がみられる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 近年、運動会等体育事業の参加人数が減少している。球技大会も、開催種目が減少するなど規模が小さくなってきている。雪上運動会など、地域の特徴を生かした事業を実施していく。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	公民館体育事業は、出場者を募るために各地区役員が苦慮している。参加チームの減少、さらには競技が成立しない種目さえみられる。自治会未加入世帯の増加、少子高齢化、ライフスタイルの変化などの原因が考えられるが、コミュニティ活動の充実に資するという事業の意義を堅持しつつ、実情を勘案して立案するよう改善が求められる。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	常盤公民館 係	事務事業No.	110436
事務事業名	常盤公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	項 目
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン 頁		
事業期間	平成 24 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等 社会教育法第24条、地方自治法第244条の2第1項、大町市公民館条例	

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点である公民館の維持管理を行う。
 地域住民の身近な行政機関として住民票等の交付窓口業務を行う。

事業の目的
 公民館施設を利用されやすい施設として適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。

事業内容
 地域住民の学習・文化・体育活動や自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業により利用される公民館施設の管理業務。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	10,504 千円	10,220 千円	37,536 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	23,349 千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	240 千円	230 千円	251 千円
		一般財源	10,264 千円	9,990 千円	13,936 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	293	301	301	290	103.8%	300
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	1,160	1,167	1,211	1,200	100.9%	1,200
	②	利用者数	人	14,981	15,704	15,518	16,000	97.0%	16,000
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 南小学校、あすなろ保育園に隣接していることから、下校時などに子どもたちの来館が多い。送迎で一時的に駐車場が混雑するので事故防止に一層の注意喚起を行う。
 常盤公民館は避難所に指定されているため、災害発生時に有効に機能するよう準備したい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	常盤公民館は、地域コミュニティの拠点施設として重要な施設であるが、建築後20年以上を経過し、老朽化により施設内の様々な設備が破損してきている。地域住民が安心して施設を利用できるよう、計画的な修繕を行い、適正な維持管理に努める。 平成27年度の事業費が多額となっているのは、県のGND基金事業補助金を受けて、太陽光発電設備等の設置工事を施工したためである。常盤公民館は避難所の指定を受けているため、災害時の太陽光発電設備と蓄電池の効果的な運用方策も含めて、避難所として適切な対応が取れるように検討・準備を進めたい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	常盤公民館	係	事務事業No.	110437			
事務事業名	常盤公民館活動費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁	119		頁	個別計画	大町市社会教育計画（第6期）、第4次大町市生涯学習推進プラン					頁	
事業期間	平成	24	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 社会教育法				

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習機会の提供するとともに、自主的な活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 文化事業、体育事業等を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを推進するとともに、地域のコミュニティー力の向上や社会福祉の増進をめざす。

事業内容
 体育事業（常盤地区球技大会ほか）、文化事業（囲碁・マージャン大会、サークル活動展ほか）、講座事業（親子教室、パン作り教室ほか）、青少年健全育成、分館活動支援等

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,043 千円	949 千円	993 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,043 千円	949 千円	993 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回	2	3	2	3	66.7%	3
②	文化事業	回	2	2	2	2	100.0%	2
③	講座事業	回	62	63	49	50	98.0%	50

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業参加者	人	440	1,046	363	1,200	30.3%	1,000
	②	文化事業参加者	人	113	222	366	200	183.0%	370
	③	講座事業参加者	人	1,307	1,069	1,556	1,100	141.5%	1,500
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 事業によっては、少子化や高齢化など社会情勢の変化などから参加者の減少傾向により、実施方法をさらに検討を要する事業がある。また、自主学習グループやサークルの育成と活動の支援にも力を入れたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	転出の増加などの影響により子どもが減っており、常盤少年駅伝など、子どもの参加する事業の継続が難しくつつある。また、自治会に加入しない世帯が増えるなど、地域との繋がりの希薄化も課題となっている。平成26年の長野県神城断層地震では、地域住民の助け合いにより犠牲者がいなかったことが注目され、地域コミュニティの繋がりの強さの重要性が改めて認識された。平成28年熊本地震のように、大災害はいつどこで起こってもおかしくない状況であることから、地域コミュニティの連携の強化は重要である。当公民館としては、各種事業を少子高齢化の進んだ現状に合わせた形に見直しつつ、既存事業の継続及び新規事業の実施に努め、コミュニティ力の向上に取り組む。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	社公民館 係	事務事業No.	110438
事務事業名	社公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等活動の拠点である公民館の維持管理を行う。また、併設されている民俗資料館の管理を行う。
 地域住民の身近な行政機関として住民票等の交付窓口業務を行う。

事業の目的
 公民館施設を利用されやすい施設として適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。

事業内容
 地域住民の学習・文化・体育活動や自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業により利用される公民館施設の管理業務。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,134 千円	7,800 千円	8,880 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	8,134 千円	7,800 千円	8,881 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	日	229	220	220	220	100.0%	220
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用件数	件	428	383	346	400	86.5%	350
	②	利用者	人	7,010	5,405	5,120	6,000	85.3%	5,500
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 民俗資料館と併設されていることから、文化財センターと協力し特別展示等の催しを行う等工夫して来館者増につなげたい。利用者の利便性向上のため27年度は、トイレの洋式化等の改修工事を行った。今後も計画的な維持管理に努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	地域の拠点施設として重要な役割を担う施設である。併設される民俗資料館の特徴を活かしながら、より一層、地域の皆様に親しまれ、利用される施設となるよう努める。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	社公民館	係	事務事業No.	110439			
事務事業名	社公民館活動費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	3
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習機会の提供するとともに、自主的な活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 文化事業、体育事業等を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを推進するとともに、地域のコミュニティ力の向上や社会福祉の増進をめざす。

事業内容
 体育事業（親睦運動会、球技大会ほか）、文化事業（ミニ文化祭、花の寄せ植え講座ほか）、分館支援事業ほか

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	664千円	655千円	628千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	664千円	655千円	629千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回	2	2	3	3	100.0%	3
②	文化事業	回	1	1	1	1	100.0%	1
③	講座事業	回	35	34	26	40	65.0%	40

成果指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業参加者	人	575	604	610	700	87.1%	650
②	文化事業参加者	人	303	294	231	350	66.0%	300
③	講座事業参加者	延べ人数	741	797	843	750	112.4%	750

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 公民館主催の教室、講座から、自主的に活動するサークルへの移行の支援について、より検討して行く。
 大きな事業である運動会については、分館対抗形式から自由参加形式に改めたところ、参加者の減少の歯止めがかかった。地域のコミュニティを醸成する親睦運動会となっているので継続実施していきたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	少子高齢化とライフスタイルの多様化により参加者減の傾向にあるが、運動会や元旦マラソンなどの開催にあたっては、地域の枠を超えての参加者が定着してきており、毎年楽しみにしている方々が増えている様に思える。更なる発展に向けた取り組みをしたい。また講座等の学習的な取り組みとしては、社会環境の変化に合わせた関心を持って頂けるような活動内容に加え、現在の情報化社会に合わせた活動内容への取組みと改善が必要と考える。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	八坂公民館	係	事務事業No.	1104310
事務事業名	八坂公民館一般経費			会計	一般会計	
まちのテーマ	人を育むまち			款	10	項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化					
後期計画掲載頁		頁	個別計画			頁
事業期間	平成 18 年	～	平成		年	根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点である公民館の維持管理を行う。

事業の目的
 公民館施設を利用されやすい施設として適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。

事業内容
 地域住民の学習・文化・体育活動や自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業により利用される公民館施設の管理業務。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,362 千円	6,293 千円	5,250 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	5,362 千円	6,293 千円	5,250 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	利用者	人	1,709	1,817	1,307	1,700	76.9%	1,300
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	登録団体	数	3	3	2	3	66.7%	2
②								
③								

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）利用者数は伸び悩み状態であるが、地域コミュニティの拠点として事業を推進している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 八坂公民館を八坂支所に併設することについて検討がなされたが、アキツは、地域コミュニティ、生涯学習の拠点として一層利活用の推進し、会議室や事務室は、公民館として管理運営する方針となった。今後、必要なハード整備（受電設備、暖房設備の改修等）を計画的に実施したい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通
点数	3	2	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続					
	評価点合計	施設の活用方法等を検討するとともに、老朽化した施設の修繕を実施する必要がある。				
	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	八坂公民館 係	事務事業No.	1104311
事務事業名	八坂公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁		頁	個別計画		頁
事業期間	平成 18 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習機会の提供するとともに、自主的な活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 文化事業、体育事業等を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを推進するとともに、地域のコミュニティ力の向上や社会福祉の増進をめざす。

事業内容
 八坂地区市民運動会をはじめ、文化祭、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等各学級講座を実施した。山村留学を行っている育てる会と連携し、通学合宿や登山を実施した。また、育成会をはじめ団体事業、図書貸し出し、学社連携による事業を開催した。

事業費	年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	総事業費(決算額)		766 千円	1,688 千円	1,226 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		766 千円	1,688 千円	1,226 千円	

活動指標			平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
	②	体育事業	回	4	5	5	5	100.0%	5
	③	学級講座	数	7	6	6	7	85.7%	7

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化事業	人	300	300	300	300	100.0%	300
	②	体育事業	人	500	500	500	500	100.0%	500
	③	学級講座	人	1,100	1,100	1,100	1,100	100.0%	1,150

2. 数値で表せない効果
 (指標) 公民館事業の実施により、住民の自治能力の向上や地域住民が交流する機会の創出により、地域の活性化に寄与している。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 今後も地域の特性を生かした事業を展開し、地域を愛する心の醸成を図る。
 自主的学習サークル、グループの育成、支援を検討する必要がある。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
	点数	3	3	3	3	2	3
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	たけのご保育園、八坂小学校と合同で開催した八坂地区市民運動会は、第4回目となるが、世代間を超えた親睦と交流が図られ、元気で活力ある地域づくりに繋がった。高齢者学級は年10回開催しているが、毎回約70人の参加者があり、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。八坂地区は少子高齢化が急速に進み年々参加者も減ってきているが、各年代を対象とした公民館活動はより積極的に継続していく必要がある。					
	評価点合計						

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104312
事務事業名	美麻公民館一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点である公民館の維持管理を行う。

事業の目的
 公民館施設を利用されやすい施設として適切に維持管理し、公民館の利用促進と公民館活動の推進を図る。

事業内容
 地域住民の学習・文化・体育活動や自治会・育成会・社会福祉等の地域団体との共催事業により利用される公民館施設の管理業務。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	4,667 千円	4,551 千円	4,723 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	4,667 千円	4,551 千円	4,723 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数	246	246	246	246	100.0%	242
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	利用件数	131	173	147	180	81.7%	150
②	利用者	2057	2671	2491	2,800	89.0%	2,500
③							
2. 数値で表せない効果		(指標)					

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 美麻支所の夜間管理業務委託の見直しの検討に併せ美麻公民館の夜間管理についても対応を検討している。使用者の利便性が低下しないような対応が必要である。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通
点数	3	3	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	美麻支所に併設されており、地域コミュニティの拠点として重要な施設。今後も地域の方々の活動拠点として利用しやすい施設であるよう努める。			
	評価点合計	16	/ 18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	美麻公民館 係	事務事業No.	1104313
事務事業名	美麻公民館活動費			会計	一般会計
まちのテーマ	人を育むまち			款	10 項 4 目 3
施策目標	社会教育の充実と活性化				
後期計画掲載頁	119	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	～	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 地域住民の学習・文化・体育活動等の拠点として、住民の関心・要望や地域社会の課題を把握しながら、多様で高度な生涯学習機会の提供するとともに、自主的な活動や地域コミュニティを支援する。

事業の目的
 文化事業、体育事業等を通じて、地域住民の学習意欲の向上と、健康体力づくり、仲間づくりを推進するとともに、地域のコミュニティ力の向上や社会福祉の増進をめざす。

事業内容
 運動会、球技大会、冬季スポーツ大会の開催。未満児、未就園児対象の親子教室の開催。各講座の開設。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	839 千円	1,221 千円	1,201 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	839 千円	1,221 千円	1,201 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	体育事業	回	4	4	4	4	100.0%	4
②	文化事業	回	10	12	12	14	85.7%	10
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	体育事業	人	545	646	560	650	86.2%	600
	②	文化事業	人	1,003	1,308	1,255	1,300	96.5%	1,300
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 地域の振興や生涯学習実践の場となることが期待されることから、美麻小中学校の学校運営委員会に積極的に関わり、地域とともにある学校づくりに協力し、学校と連携、融合した公民館事業を推進をする必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	体育事業については、年々参加者が減少傾向にあり、各分館ともに選手集めに苦慮していることから、今後は競技種目の再検討や、美麻小中学校との運動会の合同開催等について検討する必要がある。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	図書館	係	事務事業No.	110442				
事務事業名	図書館管理運営一般経費					会計	一般会計					
まちのテーマ	人を育むまち					款	4	項	4	目	4	
施策目標	社会教育の充実と活性化											
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁	
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等				市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則

事業の概要
市立大町図書館の管理運営。知の拠点、情報拠点として、市民の皆様様の意向を受けて、図書その他の資料を収集し、広く提供する。また、図書館の専門職員である司書を通じ、知りたいこと、調べたいことの解決の支援を行うとともに、調査や研究ができる場所を提供する。

事業の目的
図書館の管理運営を円滑に行い、図書館活動の推進のため、市民の生涯学習び情報の拠点の場として図書館を提供することを目的とする。

事業内容
図書館のコンピューターシステムの保守や警備等5件の業務について、委託契約を締結し、施設の管理運営を行っている等、地域住民の多彩な生涯学習、社会活動を支える場として機能するよう業務を行っている。

事業費	年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	総事業費（決算額）		31,704 千円	21,213 千円	23,872 千円
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
一般財源		31,704 千円	21,213 千円	23,872 千円	

活動指標			平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	開館日	日	283	282	289	289	100.0%	288
	②								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	来館者数	人	40,908	42,865	44,178	43,000	102.7%	44,000
	②								

2. 数値で表せない効果
(指標 ①) 書架の配置換え、くつろぎ易い環境作りや、マナー向上の取り組みなど館内環境の整備を進める中で、本・雑誌・新聞等の閲覧や調査など、図書館で時間を過ごす利用者が増加している傾向が見られる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
市民の皆様様に快適にご利用いただけるよう、施設の適切な維持管理に努める。
北アルプス広域連合の公共施設利用専門部会において、図書館利用の広域連携に関し、利便性の向上や図書館システムの協同化による経費削減などについて検討を進める必要がある。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	3	2	3	3	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	継続	①開館10年以上経っており、視聴覚機器などを中心に陳腐化しているものを計画的に更新をしていく。 ②地震発生時の本の落下を防ぐため、児童コーナーの書棚の高い部分には落下防止シートを設置し、利用者の安全対策を図っているが、一般図書コーナーの書棚においても引き続き設置を進めていく。 ③市人口の減少や読書に変わる娯楽の多様化などにより利用者数は減少傾向にあるが、地域住民のニーズに対応すると共に図書館を生涯学習や読書活動の場として提供していくことが必要である。					
	評価点合計	17 / 18					

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	図書館	係	事務事業No.	110443			
事務事業名	図書資料購入事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	4	目	4
施策目標	社会教育の充実と活性化										
後期計画掲載頁				頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等 市立大町図書館設置及び管理に関する条例施行規則			

事業の概要
図書館資料の購入。

事業の目的
市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、来館者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。

事業内容
市民のニーズに適合した資料の選定及び購入。
市民のリクエスト本の購入。
図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入。
図書資料の収集、整理。
返却本の修理。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,000 千円	7,722 千円	8,238 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	8,000 千円	7,722 千円	8,238 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 図書購入	冊	4,322	4,200	3,943	4,000	98.6%	4,000
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①							
②							
③							

2. 数値で表せない効果
（指標①）大活字本、大型絵本、大型本、自然科学、芸術などの分野の図書の拡充により、図書館への興味や生涯学習の意識が高まり、専門的知識も向上したと考えられる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
利用者によってニーズが異なるが、リクエストサービスなどの要望に応じつつ、公立図書館として分野の偏らない購入に努める。
インターネットによる他の図書館の蔵書検索を活用し、他館にしかない本については、相互貸借サービスの利用できることを周知し、利用者の要求にできるだけ応えたい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	2	3	3	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	引き続き、大活字本、大型絵本なども含め、バランス良く分野の偏らない資料購入に努める。図書館の利用者の増加傾向につながるよう、今後もさまざまなニーズに合った資料提供に努め、市民の皆様が読書好きとなっただけのような資料収集や書籍購入に努めたい。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	文化会館・大町公民館 係	事務事業No.	110452
事務事業名	文化会館管理運営一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 5
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109 頁	個別計画	第4次生涯学習プラン	15 頁	
事業期間	平成 19 年	～	平成 28 年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
文化会館・サンアルプス大町の施設の管理、運営を行う。

事業の目的
文化会館・サンアルプス大町の施設を安全、適正に管理、運営を行う。文化会館の舞台機構等設備を計画的に順次更新する。

事業内容
文化会館運営委員会の開催、文化会館等管理臨時職員賃金、文化会館等需用費、文化会館等役務費、文化会館等委託料(清掃・空調保守点検・舞台音響保守点検・舞台照明保守点検・舞台機構保守点検・警備・エレベーター・自動ドア等)工事請負費(舞台機構改修(幕類、ガイドシュー交換等)工事)

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費(決算額)	71,340 千円	74,874 千円	80,965 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	4,915 千円	4,379 千円	4,738 千円
		一般財源	66,425 千円	70,495 千円	76,227 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	貸館日数(サンアルプス)	289	289	280	289	96.9%	280
②							
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	サンアルプス利用者数	20,214	29,816	19,987	21,000	95.2%	20,000
②	サンアルプス利用数	467	516	475	500	95.0%	500
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
昭和61年の開館以来、29年が経過し、舞台機構設備、空調設備など耐用年数を超えた設備が多い。設備更新計画に基づき更新、修繕工事を実施している。市民の皆様の芸術文化活動、鑑賞の拠点となる施設の整備に努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	大町公民館と一体となった運用を行い、使い勝手の良い施設として機能している。一方で開館以来29年が経過し老朽化が進み、機能の維持に多くの財源を必要としている。設備更新計画を策定し安全性、使用頻度から、緊急度・優先順位を考慮し更新事業を実施している。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	生涯学習	課	文化会館・大町公民館	係	事務事業No.	110453			
事務事業名	文化会館公演事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	潤いのあるまち					款	10	項	4	目	5
施策目標	歴史文化の振興										
後期計画掲載頁	109		頁	個別計画	第4次生涯学習プラン					15	頁
事業期間	平成	19	年	～	平成	28	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
市民のニーズに合った舞台芸術にふれる機会を提供し、舞台芸術との出会いを通して、生きる喜びや感動を伝え、潤いのあるまちづくりを推進する。

事業の目的
舞台芸術にふれる機会の少ない市民が気軽に楽しく芸術文化にふれあうことができるよう、文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動の促進や鑑賞機会を提供する。

事業内容
9/21細川たかしコンサート、11/3高橋あす美コンサート、11/8祭in大町・北安曇2015、11/27,28芸術文化ふれあい拡充事業、11/1,15,22市民芸術祭、12/12東京スカパラダイスオーケストラ、3/20劇団四季「むかしむかしソウがきた」、その他共催等

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	28,397千円	30,968千円	26,333千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	9,513千円	9,753千円	10,114千円
		一般財源	18,884千円	21,215千円	16,219千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化会館自主事業	回	6	12	8	10	80.0%	10
②	文化会館利用数	回	92	120	103	100	103.0%	100
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	文化会館自主事業入場者数	人	5,341	4,539	5,416	5,500	98.5%	5,500
	②	文化会館入場者数	人	37,542	31,815	26,872	38,000	70.7%	30,000
③									
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
今後も市民の皆様が芸術文化にふれあうことができるよう、鑑賞機会の提供のため、様々な公演を実施するとともに、入場者増加に向け、広報活動等にも工夫を重ねたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	市民の文化芸術活動の発表の場であると共に、日頃接することの少ない芸術性高い芸術や娯楽の場としての位置づけがある。今後一層市民文化芸術活動の発表の場としての機能が求められている。一方で、建築後30年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、今後ソフト面での機能をはたすためにも、ハードの整備が必要であり、計画的に施設改修を行っていく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110461
事務事業名	文化財保護一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	昭和	61年	～	平成	年
根拠法令・要綱等 文化財保護法・大町市文化財保護条例・文化財保護補助金交付要綱					

事業の概要
 大町市には、国・県・市指定の文化財が数多くの文化財が存在する。これら文化財の保護保存と継承を推進するとともに地域資源としての活用も図る。

事業の目的
 文化財の保護保存の推進。
 歴史や文化について学んだり触れ合う機会を提供し、文化財を活用した地域振興や保護意識の高揚を図る。

事業内容
 文化財に関する講座・見学会の実施。
 指定文化財、未指定文化財の調査研究。
 指定文化財等の保存修理および文化財保護・活用に対する支援（保護事業助成）。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	5,186 千円	7,956 千円	5,499 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	269 千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	5,186 千円	7,956 千円	5,230 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化財めぐり・講座等開催数	10	10	8	12	66.7%	12
②	文化財保護事業費助成件数	2	4	3	4	75.0%	5
③	指定・未指定文化財調査件数	5	4	4	4	100.0%	4

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	文化財めぐり・講座等参加人数	483	468	408	500	81.6%	500
②	文化財保護事業助成金額	1,529	2,080	1,597	3,300	48.4%	2,195
③	説明板・案内板設置件数	1	2	1	2	50.0%	2

2. 数値で表せない効果
 （指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 文化財保護事業費の助成は、文化財所有者の負担を伴うため、所有者の理解が必要となる。
 助成実施件数については、所有者の意向や災害等の状況により増減する。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	適正である	
点数	3	2	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	国民・市民共有の財産と位置づけられる文化財を後世に継承していくため、保存・整備を推進・継続し、文化財所有者との連系を深めて、地域資源として活用していくことが必要である。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110462
事務事業名	遺跡発掘調査事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	平成 54 年	～	平成 年	根拠法令・要綱等	文化財保護法

事業の概要
 地中に埋もれている埋蔵文化財（遺跡）の情報を把握し、その成果を歴史教材として活用する。

事業の目的
 埋蔵文化財の保護・活用。記録保存。

事業内容
 学術発掘調査、緊急発掘調査（記録保存）、発掘調査現地見学会、遺跡試掘調査の実施。
 平成27年度は、大町岳陽高校校舎建設のための記録保存発掘調査を実施した。結果、中世の住居跡など中世仁科氏居館跡に係わる集落の遺構・遺物が発見された。この他、太陽光発電設備設置事業等の開発事業に伴う試掘調査を実施した。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,425 千円	2,556 千円	7,431 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	7,650 千円	千円	7,431 千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	775 千円	2,556 千円	0 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 発掘調査件数	件	2	1	2	2	100.0%	2
② 試掘調査件数	件	4	4	4	4	100.0%	4
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 発掘調査面積	m ²	1,100	200	900	900	100.0%	160
② 埋蔵文化財の有無の問い合わせ件数	件	38	40	42	42	100.0%	50
③ 調査遺跡内容							

2. 数値で表せない効果
 （指標③）調査遺跡の内容は遺跡によって時代・範囲等に違いがあり、その成果内容も違ってくる。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 発掘調査は、学術調査、記録保存のための緊急発掘調査と開発対象地の試掘調査に分類される。年度により事業量にばらつきがあるため目標設定がむずかしい。調査結果を広く市民に公開し、文化財に対する理解を深めてもらえるよう努めたい。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 16 / 18	発掘の成果を広く公開し、郷土の文化財への関心や保護意識の喚起に努めたい。発掘調査は、その年により、開発等の関係などにより実施件数が増減する。				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110463
事務事業名	文化財センター管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	平成13年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 大町市文化財センター設置及び管理に関する条例

事業の概要
出土品や古文書等の収蔵、市に関係する歴史・民俗等について学習・研究する場である文化財センターの管理運営。

事業の目的
大町市における歴史、民俗その他の資料を保管・展示・調査研究をおこない文化財保護の推進を図る拠点とする。

事業内容
歴史・民俗資料調査研究、収蔵品、資料の公開を行う文化財センターの管理運営。学習室では、市民向け講座を開催するなど、文化財への理解と保護意識の高揚を図るための事業を実施している。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,061 千円	1,295 千円	1,175 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	103 千円	千円	千円
	一般財源	958 千円	1,295 千円	1,175 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	企画展の開催	回	1	1	1	1	100.0%	1
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	資料公開・閲覧利用者数	人	35	28	54	50	108.0%	50
	②	企画展見学者数	人	34	67	37	50	74.0%	50
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
文化財に対する理解と保護意識の向上を図るため、資料の公開や学習会、講演会等を積極的に展開して行きたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	大町市には、国宝指定建造物の仁科神明宮をはじめ、国・県・市指定の文化財が数多く存在している。また、貴重な歴史・民俗資料、天然記念物も各所に残されている。これらの貴重な文化遺産等を守り、後世に伝えて行くことが重要であることから、文化財センターを拠点に学習活動や啓発活動を積極的に行い、文化財に対する関心や保護意識の高揚を図りたい。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習	課	文化財	係	事務事業No.	110465
事務事業名	中村家住宅管理事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	潤いのあるまち				款	10	項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興						
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画			31-34
事業期間	平成	18	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等 文化財保護法、重要文化財旧中村家住宅管理条例

事業の概要
有形文化財のうち、特に重要とされ、国重要文化財に指定された旧中村家住宅の保存と活用を図り、公開し、文化財保護を広く普及啓発する。

事業の目的
重要文化財建造物の公開を通して、地域の文化と歴史にふれあう場とする。

事業内容
毎年4月から11月までの8ヶ月間重要文化財建造物を公開、維持・管理を行っている。
維持・管理事業として平成26年神城断層地震のため主屋・土蔵の土壁を中心に被害を受け、災害復旧(国庫補助事業)として保存修理を平成27年3月より実施。26年度繰越事業となり、27年10月完了。下記の27年度、総事業費は、中村家住宅管理事業3,771千円、繰越明許費中村家住宅管理事業1,557千円の合計額。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	1,066 千円	1,981 千円	3,771 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	351 千円	264 千円	89 千円
	一般財源	715 千円	1,717 千円	3,682 千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	旧中村家住宅公開日数	日	180	180	160	170	94.1%	180
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	旧中村家住宅入館者数	人	1,262	954	447	900	49.7%	900
	②								

2. 数値で表せない効果

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
平成27年度は神城断層地震による災害復旧保存修理事業を実施し、並行しての公開であったので入館者は半減となった。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	市街地から離れている場所に所在することから、なかなか見学者の増加は見込めないが、美麻地区と連携し継続して保護・活用に努める必要が考えられる。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	生涯学習課	文化財係	事務事業No.	110466
事務事業名	線越明許費中村家住宅管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	潤いのあるまち			款	10 項 4 目 6
施策目標	歴史文化の振興				
後期計画掲載頁	109	頁	個別計画	第6期社会教育計画	31-34 頁
事業期間	平成26年	～	平成27年	根拠法令・要綱等	文化財保護法

事業の概要
平成26年11月に発生した神城断層地震により、土壁の亀裂や崩落等の被害を受けた、国重要文化財の旧中村家住宅の保存修理。

事業の目的
重要文化財建造物の地震災害復旧。

事業内容
平成26年神城断層地震のため主屋・土蔵の土壁を中心に被害を受け、災害復旧(国庫補助事業)として保存修理を平成27年3月より実施。26年度線越事業となり、27年10月完了。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	千円	千円	11,557 千円
	国庫支出金	千円	千円	9,843 千円
	県支出金	千円	千円	347 千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	千円	1,367 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 災害復旧	%	—	10	90	90	100.0%	—
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 建造物保存修理工事	%	—	10	90	90	100.0%	—
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標①)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
旧中村家住宅主屋・土蔵は、平成26年神城断層地震のため被害を受け、国庫補助事業の災害復旧事業として(平成26年度線越事業)保存修理を実施。平成27年10月に完了した。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)				
	今後の方向性	事業完了終了 地震により、重要文化財指定の主屋・土蔵が崩れたり、多数の亀裂が生じるなどの被害を受けた。保存修理事業は、国庫補助事業としての採択を受け実施し、平成27年10月完了した。				
	評価点合計	17 / 18				